

コラム

“c-Japan戦略”の研究



(社)日本芸能実演家団体協議会 前専務理事
棚野 正士

2001年1月22日、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（IT戦略本部）は「e-Japan戦略」を決定し、5年以内に3000万所帯が高速インターネットアクセス網に常時接続可能な環境を整備することを提唱している。又、IT戦略本部は、2001年6月26日、「e-Japan2002プログラム」を決定し、ネットワーク上で提供されるコンテンツの飛躍的増大のために、知的財産権の保護を含め、優良なコンテンツの製作・流通を提唱している。

e-Japan戦略がいわば高速道路網の整備であるとするれば、コンテンツは高速道路を走行するクルマであり、ネットワークには、クルマの安全な走行が保証されることが求められると共に優れたクルマの製作、流通が課題になる。高速道路網の整備とクルマの発展が硬貨の裏表であるように、インターネットアクセス網の整備とコンテンツの製作、流通は一体的課題である。

コンテンツにはネットワークに提供されるコンテンツだけでなく放送コンテンツ、レコード、映画等のパッケージコンテンツ、生による生コンテンツ等種々の形がある。

2002年2月25日内閣総理大臣決裁で発足した「知的財産戦略会議」（富塚勇日本レコード協会会長が委員として参加されている。）は7月3日「知的財産立国」実現に向けた戦略大綱を発表し、知的財産立国とは「技術、デザイン、ブランドや音楽・映画等のコンテンツといった価値ある“情報づくり”、すなわち無形財産の創造を産業の基盤に据えることにより、我が国経済・社会の再活性化を図るというビジョンに裏打ちされた国家戦略である。」と述べている。

昨年成立した文化芸術振興基本法の第9条（メディア芸術の振興）は、「国は、映画、漫画、アニメーション及びコンピュータその他の電子機器等を利用した芸術の振興を図るため、メディア芸術の製作、上映等への支援その他の必要な措置を講ずるものとする。」と定めている。文化芸術の振興は産業的場、ビジネスの場で形成されていくものであり、メディアの振興は重要である。

今、必要なことはレコード産業の振興、映画産業の振興など文化産業、文化ビジネスの振興といういわばパイの拡大であると考え。ビタミンはeも大切であるがcはもっと大切であり、e-Japanと共にc-Japan（コンテンツ・ジャパン）を研究したい。

Contents

Contents

THE RECORD……2002.9 No.514

● “c-Japan戦略”の研究 (社)日本芸能実演家団体協議会 前専務理事 棚野 正士	イギリス音楽市場(BPI)／会議メモ／松村克巳氏逝去
----- 2	
● CDレンタル店実態調査 ----- 3	● IFPIについて ----- 11
● 貸レコードのしくみ ----- 6	● 世界の話 ----- 12
● 新品CD大ディスカウントフェア ----- 8	● 統計資料 ----- 13
ーレコードファン感謝祭2002廃盤特別謝恩セールー	● GOLD ALBUM 他 認定作品 ----- 14
● Information ----- 9	● レコード生産実績 ----- 15
文化芸術振興基本法基本方針への要望／E C、海	
賊版押収状況発表(IFPIリリース)／	

2002年度 C D レンタル店実態調査

大型チェーン店の出店により、大型化・複合化が進行

当協会では、全国のC D レンタル店の実態を把握するために、毎年全店調査を実施しています。19回目となる2002年は、4月から7月にかけて、当協会調査員による全国3,620店の訪店調査を行いました。

店舗数 2.4%減少

C D レンタル店の営業店舗数は2002年7月末現在3,617店と前年比2.4%減となりました。'89年末の6,213店をピークとしたC D レンタル店の減少は今年も続いており、ピーク時から約2,600店（42%）減少しました。

また、今年1月から7月までの間に、新規開業店は210店、閉店は254店と、464店が入れ替わっています。（図-1 参照）

C D レンタル店の 面積と兼業状況

'90年以降、減少する店舗数とは反対に店舗面積の拡大は続いています。店舗全体の面積（他の売場を含む）を見ると566㎡で前年に比べて6%増となっていますが、C D レンタルコーナーの面積（56.4㎡）は、96年以降ほぼ横ばいになっています。

店舗面積全体の拡大は、ビデオレンタル（230㎡、前年比8.6%増）以外に、新品・中古C D 販売、書籍、ゲームソフトの販売も兼業する大型複合店の出店が続いているからと言えます。（図-2参照）

図-1 CDレンタル店数と開業・閉店の推移

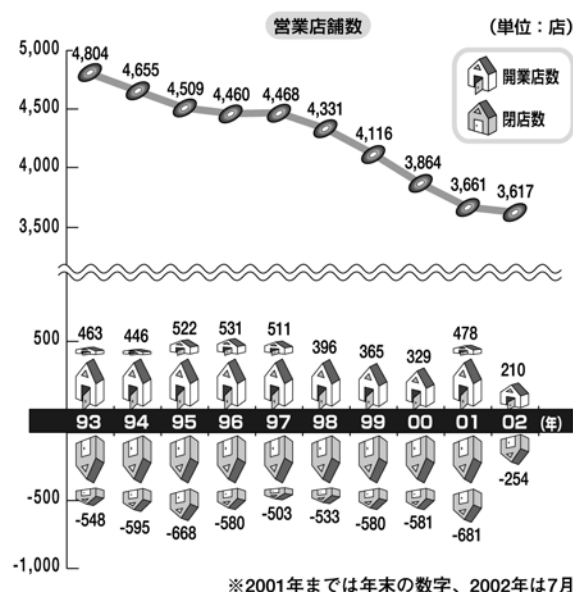
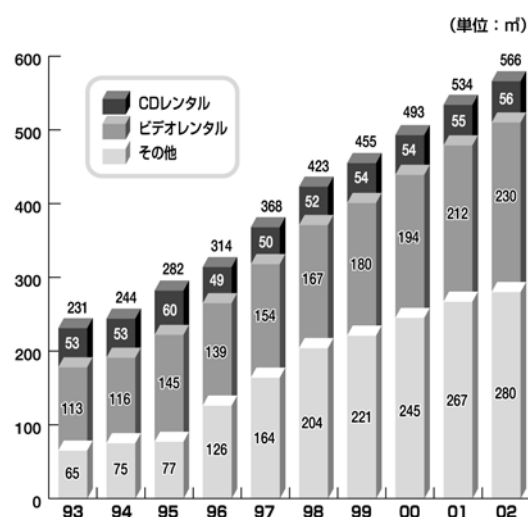


図-2 店舗面積(1店舗平均)



● CDレンタル店実態調査

なお、兼業の状況（複数回答による集計）を見ると、ビデオレンタルを兼業している店舗は全体の98.8%（前年98.5%）、DVDレンタル83.2%（前年67.2%）、中古CD販売96.4%（前年96.3%）、書籍販売45.7%（前年42.4%）、ゲームソフト販売46.1%（前年44.5%）といずれも前年を上回っており、特にDVDレンタルが急速に広まっています。一方でCDレンタル専門店は24店まで減少し、また、AVレンタル専門店（CDとビデオのレンタルのみ）も980店（全体の27%）まで減少しています。

CDレンタル店の在庫

レンタル用CDの総在庫数はアルバム・シングルを合わせて31,031千枚と前年比4.1%減になっています。内訳を見ると、アルバムは前年比2.7%増ですが、シングルは16.8%の大幅減となっています。総在庫数は'97年をピークに減少傾向にあり、'97年対比で総在庫30.6%減、アルバムは11.0%減、シングルでは54.6%減となっています。（図-3（a）参照）

また、1店舗当りの平均在庫数で見ると、アルバムは前年比6%増ですが、シングルは16%減となり、合計在庫数は8,585枚の1.8%減となっています。（図-3（b）参照）

CDの在庫規模による店舗数分布を見ると、中型店（在庫数4千枚～1万枚未満）が4年連続で増加しており、前年比2ポイント増の56.1%、一方、小型店（4千枚未満）は0.2ポイント減の11.3%、大型店（1万枚～1万5千枚）は1.6ポイント減の26.5%、超大型店（1万5千枚以上）は0.2ポイント減の6.1%となっています。（図-3（c）参照）

図-3(a) 総在庫数

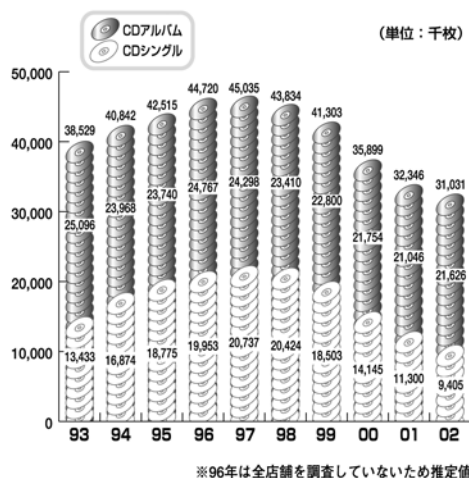


図-3(b) 1舗平均在庫数

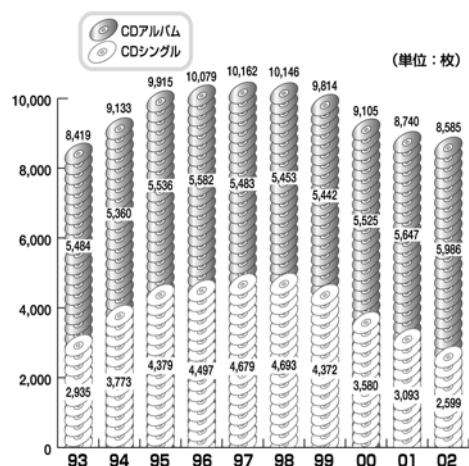
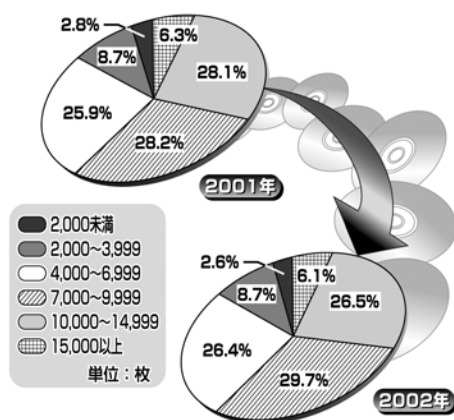


図-3(c) CD在庫規模別の店舗分布状況



CDの種類別に取扱い店の状況を見ると、邦盤についてはアルバム・シングルともほとんどすべての店が取扱っています。洋盤の場合、アルバムの取扱店が97.2%（前年94.7%）と年々増加してきていますが、一方で、シングルの取扱店は'97年の79.7%をピークに今年は36.2%まで減少してきています。

（図－3（d）参照）

CDの在庫の状況を邦盤・洋盤の比率で見ると、アルバムでは63対37、シングルでは99対1とここ数年変化はありません。（図－3（e）参照）

図-3(d) CD 種類別取扱店数比

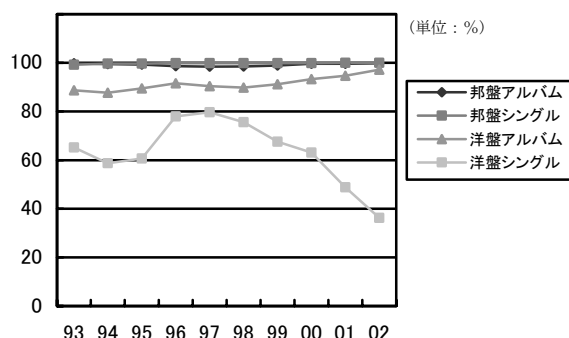
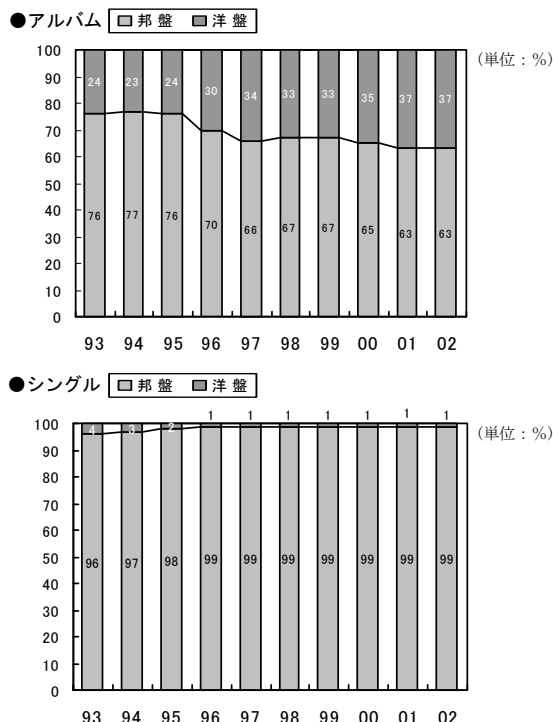


図-3(e) 在庫数 邦・洋構成比



ビデオレンタル兼業店のビデオテープの総在庫数は68,671千本（前年比6.4%増）、1店当り平均19,209本（前年比9.7%増）と増加しています。

DVDレンタル兼業店のDVD総在庫数は3,264千枚（前年比93.7%増）、1店当り平均1,083枚（前年比61.6%増）と急伸しているのが目立ちます。2000年対比では、店舗数で2倍、総在庫数では6倍（1店舗当たりの平均在庫数で3.7倍）の伸びを見せています。（表－1参照）

表-1 DVD レンタル兼業店と在庫数

(単位:件、在庫数:枚)				
	店舗数	兼業率	総在庫数	平均在庫数
2000年	1,475	37.3%	540,133	295
2001年	2,516	67.2%	1,685,469	670
2002年	3,013	83.2%	3,264,018	1,083

む す び

今回の調査結果から、中小型店の閉店、大型チェーン店の出店により店舗全体の面積や兼業率が増加を続け、年々大型複合化が進んでいることが分かります。一方、CDレンタルのみを見た場合、店舗数の減少（中でもレンタル専門店の減少）、在庫数の減少、CDレンタルコーナーの面積横ばい等、CDレンタル業は全体的に縮小傾向にあります。

音楽業界は、昨今の技術進歩に伴う新しいメディア・流通チャンネルの出現、8cmCDシングルから12cmCDシングルへのシフトなど大きく変化しています。長引く不況による消費低迷を背景に、レンタルユーザーの中心である若年層の人口減、消費の多様化による可処分所得の分散等厳しい環境が続く中、CDレンタル業はさらに大きな転換期を迎えています。

貸レコードのしくみ

■経緯

1980年に最初の貸レコード店が三鷹市に開業されて以来、10年近くにわたってレコード製作者は権利を守るため、貸レコード店に対して度重なる民事訴訟を起こしてきました。その間、84年6月に貸レコード暫定措置法が施行された後、85年1月に改正著作権法が施行され、レコード製作者に「貸与権」と「報酬請求権」が付与されました。これにより、貸レコード店はレコード製作者に無断でレコードレンタルをすることができなくなり、ようやく両者間に「禁止ルール」を含む合意が確立しました。

その後、90年11月に邦盤に関して新禁止ルール（下記）が合意され、92年1月には外国のレコード製作者にも貸与権・報酬請求権を付与する改正著作権法が施行され、度重なる交渉を経て、現在の内容で運営されることとなりました。

新禁止ルール（邦盤）

- 第1ステップ(91年8月1日～92年9月30日)
邦盤アルバム発売日から1週間禁止
- 第2ステップ(92年10月1日～94年9月30日)
邦盤アルバム発売日から最長2週間禁止
邦盤シングル発売日から最長3日間禁止
- 第3ステップ(現行:94年10月1日～)
邦盤アルバム発売日から最長3週間禁止
邦盤シングル発売日から最長3日間禁止

■貸与権

レコードは音が固定された年の翌年1月から50年間保護されていますが、貸与権は、商業用レコード（CD等）の発売日から1年間、貸レコードにそのレコードの使用を許諾・禁止できる権利です。

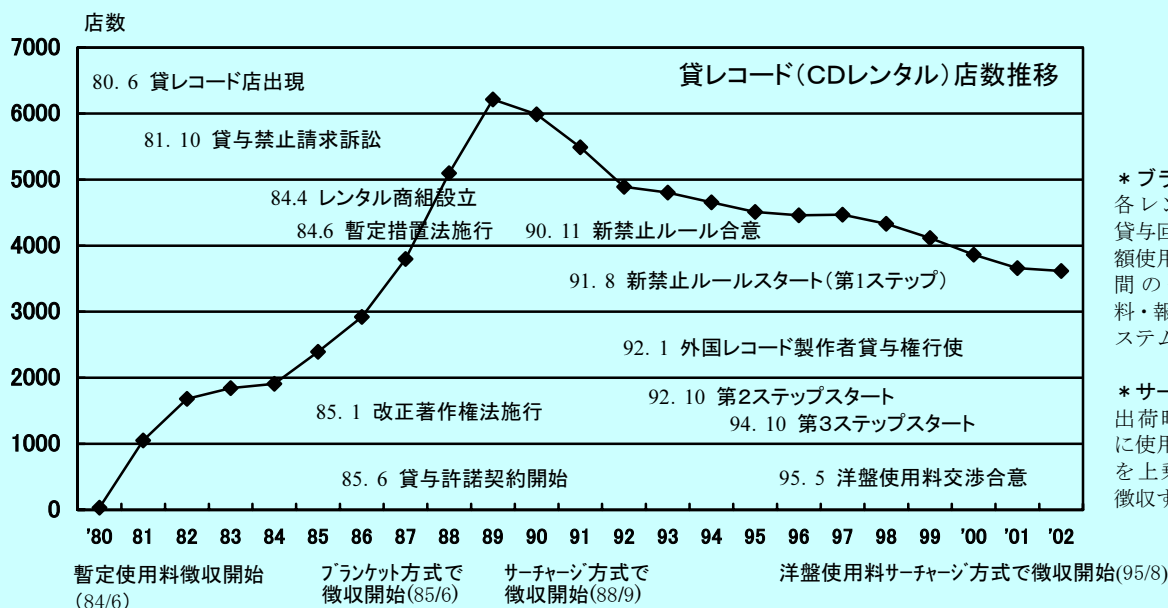
（レコードの保護期間は、2002年10月から起算点が「発売日」に変更になります）

【邦盤】・・・アルバムについては発売日から最長3週間、シングルについては最長3日間、レンタルでの使用が禁止されています。また、禁止期間終了後の保護期間内にあるレコードについては、使用料・報酬が徴収されています。

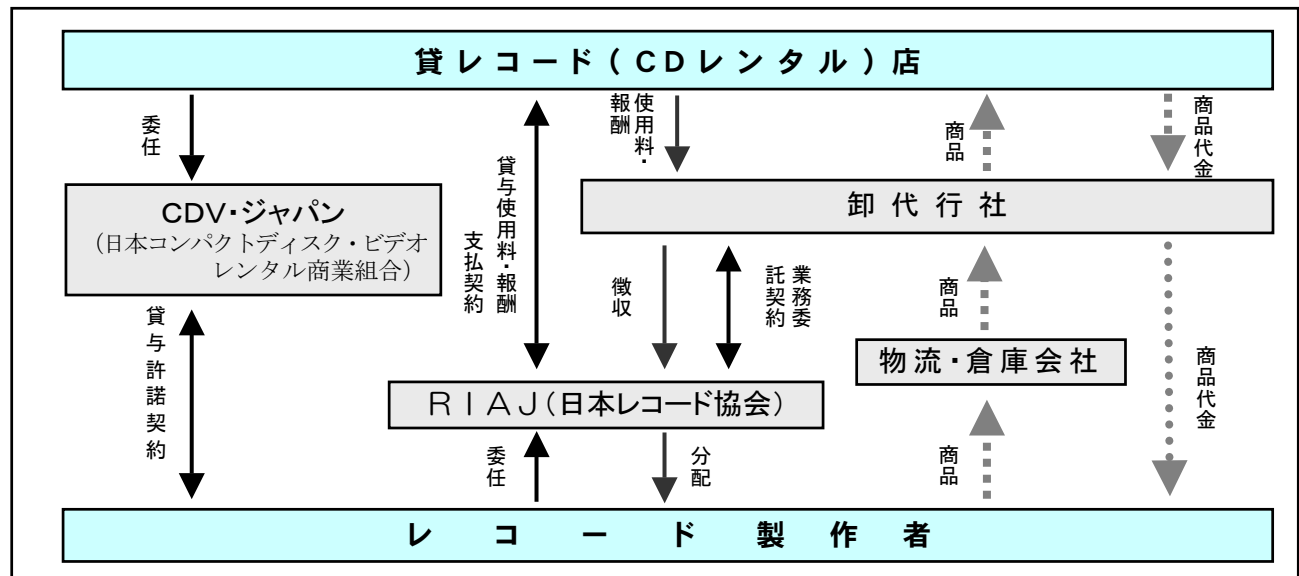
【洋盤】・・・1年間の貸与権が行使されており、発売から1年間レンタルに使用できません。報酬については、邦盤と同様、外国レコード製作者の権利委任を受けて報酬が徴収されています。

■報酬請求権

貸与権期間が経過した商業用レコードについて、そのレコードの残存保護期間中、貸レコードに使われたレコードの報酬を貸レコード店に請求できる権利です。この権利については、二次使用料同様、指定された団体（日本レコード協会）が権利行使を行います。



契約・使用料・報酬の徴収・分配、物流システム(邦盤の場合)



使用料・報酬制度等の内容

	邦 盤			洋 盤		
定義	・日本国民をレコード製作者とするレコード 【著作権法第8条】による			・条約により保護されるレコード 現在適用される条約は、実演家等保護条約(ローマ条約)、レコード保護条約(ジュネーブ条約)、WTO設立協定の3つ。 いずれの条約においても、その条約加盟国の国民がレコード製作者である場合、及び条約の加盟国で最初に音が固定された場合、そのレコードが保護の対象となる。 ・日本で最初に音が固定(録音)されたレコード 〈注〉2002年10月9日からWPPTにも適用 【著作権法第8条】による		
	シングル	アルバム		シングル	アルバム	
	「異なった楽曲を2曲収録した商業用レコード」但し、以下のものを含む。 ①通常のシングル(A、Bの2曲) ②A、B2曲+同曲のカラオケ ③A、B2曲+同曲の別バージョン(但し、同一アーティストに限る) ④A、Bいずれか1曲+同曲の別バージョン(但し、同一アーティストに限る)	「シングル以外の商業用レコード」但し、以下のものを含む。 ①通常のアルバム ②ミニ・アルバム(3曲以上の異なる曲を収録したもの) ③CDミニ・カラオケ(カラオケのみ3曲以上の異なる曲を収録したもの)		邦盤と同じ		邦盤と同じ
レンタル禁止期間	発売日から最長3日間		発売日から最長3週間	世界最初の発売日から1年間		
※禁止期間経過の使用料・報酬	(税抜価格¥1,000以下の場合)			(税抜価格区分は邦盤と同じ)		
	1枚 85円	(税抜価格¥1,001~1,999の場合)	1枚 165円	1枚 68円 (邦盤の80%)	1枚 132円 (邦盤の80%)	1枚 264円 (邦盤の80%)
ジャケット等への表示事項	(表示例) 貸与禁止対象レコードのマーク 02. 9. 5 ↓ Ⓛ ⓧ ↑ 国内発売日 邦盤のマーク			(表示例) 貸与禁止対象レコードのマーク 02. 9. 5 (02. 9. 1) ↓ Ⓨ ⓧ ↑ 国内発売日 世界最初の発売日 洋盤のマーク		

※禁止期間経過後の商業用レコードの使用料・報酬は税抜価格帯による。



新品CD 大ディスカウントフェア レコードファン感謝祭2002 廃盤特別謝恩セール

開催のお知らせ

社団法人日本レコード協会加盟24社は、2002年10月31日（木）から11月13日（水）までの2週間、インターネットを利用した通信販売による「新品CD大ディスカウントフェア ～レコードファン感謝祭2002 廃盤特別謝恩セール～」を開催致します。

この廃盤セールは、音楽・レコードファンの皆様へ日頃の感謝の気持ちを込めて、日本レコード協会加盟のレコード会社各社のレコードを特別価格にてご提供させていただくもので、1992年から毎年秋に実施しております。毎年多くの音楽ファンの皆様からご好評をいただいております、おかげさまで、今年で第11回を迎えました。

一昨年までは、東京の特設会場での2日間のみで開催でしたが、昨年からは、全国の音楽ファンの皆様のご要望にお応えし、インターネットを利用した通信販売の形式で2週間にわたって実施しております。

期間中、皆様からのアクセスを心からお待ち申し上げます。

記

■名称

「新品CD大ディスカウントフェア
～レコードファン感謝祭2002

廃盤特別謝恩セール～」

■開催日程

2002年10月31日（木）9:00 ～ 11月13日（水）24:00

（なお、10月15日（火）から、事前の商品閲覧とユーザー登録ができます。商品のご注文は、10月31日（木）午前9時から開始させていただきます）

■主催

（社）日本レコード協会加盟メーカー24社

■協賛

（社）日本レコード協会

■運営

株式会社 ジャパン ミュージック データ

■出品

CD（8cm・12cm）、ビデオカセット、ビデオディスク、アナログディスク

■出品数

5,000タイトル15万枚（予定）

■販売価格

廃盤：定価の70%OFF

※ その他、輸入盤・時限再販期間経過商品・レーザーディスクを割引特価で販売

■ホームページアドレス

URL: <http://fair.jmd.ne.jp>

※廃盤セールに関する詳細は、上記ホームページをご覧ください。（2002年10月1日～ 告知サイト開設予定）

文化芸術振興基本法 基本方針への要望

文化芸術振興基本法は、文化芸術振興のための枠組みを定める法律として音楽議員連盟の議員によって昨年の国会に提出され、12月7日に発効しました。

この法律によって、同法の基本理念に掲げられた文化芸術振興に向けて、総合的に施策を策定し実施する責務が国に課されると共に、地方公共団体にもほぼ同様の責務が課されることになります。

政府は、このような施策の推進を図るために「基本方針」を定めることとされており、その案は文部科学大臣が文化審議会の意見を聞いて作成することとされています。これを受け、文部科学大臣は6月5日、文化審議会に諮問しました。

この基本方針案作成に向けて、現在、次のような活動が行われています。

<文化芸術懇談会>

各地域の文化芸術関係者や住民との意見交換等を通じて今後の文化芸術振興施策を充実させていくために、文化庁と都道府県等文化行政担当部局が、共同で開催しています。

懇談会は、全国の9ブロックで開催されるもので、河合隼雄文化庁長官ほかの関係官、都道府県と市町村の文化行政関係者、文化関係団体関係者、文化ボランティア実践者、住民が参加しています。

内容は、長官の講話、国の文化芸術振興策の説明、文化芸術活動の実践発表、文化芸術振興に向けた要望と意見交換とされています。

<文化芸術振興基本法推進フォーラム>

今年1月29日、この法律の運用に深い関わりを持つ文化芸術分野の11団体によって、「文化芸術振興基本法推進フォーラム」が形成されました。

このフォーラムは、実際に文化芸術活動に従事する立場から、自ら文化芸術の振興に資するための活動を展開するほか、基本方針作成に向けて、共通の問題とそれぞれに固有の問題について、関係方面に理解を求め、かつ要望していくための活動を行っています。

● 音楽議員連盟総会への参加

7月30日、超党派で構成される音楽議員連盟の臨時総会が開催され、同フォーラムを構成する11団体が参加しました。

橋本龍太郎会長と河合文化庁長官のご挨拶のあと斉藤事務局長から国会の報告が行われ、引き続き、それぞれ個別の問題について各団体代表から説明が行われました。

● 文化庁長官との懇談

8月8日、文化庁長官をはじめ、文化庁次長、各関係部局の幹部と同フォーラム11団体の代表による懇談会が行われました。

この懇談会では、①今後の文化芸術振興政策の形成と推進のための仕組みづくり、②創造活動への理解拡大とデジタル時代に対応した基盤整備、③芸術活動への支援と推進のあり方の見直し、④文化芸術活動の担い手の育成と社会の要請に対応した芸術家等の確保、⑤豊かな文化芸術に触れられる拠点づくり、の5つの懇談テーマに分け、同フォーラムの各団体が当面する問題について説明と要望を行いました。

引き続き、それぞれの問題について意見交換が行われ、この日の懇談は幕を閉じました。

以上のほか、8月以降来年1月にかけて、全国9カ所で、文化芸術の振興を考えるためのイベントが同フォーラムの有志団体によって計画されています。

なお、この推進フォーラムを構成する11団体は、以下のとおりです。
(社) 日本芸能実演家団体協議会、(社) 日本音楽著作権協会、(社) 日本レコード協会、(社) 音楽出版社協会、芸術家会議、(社) 日本オーケストラ連盟、(財) 音楽文化創造、(協) 日本映画監督協会、日本映画メインスタッフ連絡会、全日本舞台・テレビ技術関連団体連絡協議会、芸術文化振興連絡会

EC(欧州委員会)、海賊版ディスク 押収が前年比349%と公表 重大犯罪やテロとの関連性も指摘

世界70か国1,500以上のレコード会社を代表する音楽産業団体であるIFPI(国際レコード産業連盟:本部・ロンドン、<http://www.ifpi.org>)は、2002年7月26日、EU(欧州連合)国境で押収された海賊版ディスクが2001年には対前年比349%、4,000万枚を超えたというEC(欧州委員会)の発表を受け、世界のレコード産業の警鐘としてプレスリリースを発表しました。海賊版CDは、重大な国際的組織犯罪とも結びついた巨大な違法ビジネスとなっており、EU全体で20億ユーロに上るとみられる海賊版及び模造品ビジネスの半分近くを占めるまでに至っています。

IFPIは世界のレコード産業の代表として、激増する海賊版流通の阻止

に対し大いに尽力した欧州各国の税関職員と、EU域内への海賊版流入を阻止するために産業と税関当局の連携推進を提議したECに対して賛意を表しました。この提議では、EU域内で横行する海賊行為に対して、EU全体としてより厳しい罰則を定める「権利執行ディレクティブ」を推進することが提唱されています。

ECが26日付で発表した模造および海賊行為問題についての報告書には、以下の事項が含まれています。

- ・ CD（音楽、ゲーム、ソフトウェアを含む）、DVD及びカセットは海賊版の中で最も増加しており、2001年の押収品全体の42%を占める。
- ・ 数多くの税関捜査で、海賊行為と特定のテロ組織との関連性が明らかにされている。
- ・ ECとEU加盟各国では、産業と税関当局の協力を密にすることで、海賊製品取引に対してより効果的な取り組みが行えるよう法改正を検討している。
- ・ ECは、今年中にも、知的財産権の執行について加盟国間の調和を図るための「権利管理ディレクティブ」を提議する予定である。

これについて、IFPIのバーマン会長兼CEOは、「今回発表された数字は非常に憂慮すべきものであり、欧州における模倣行為や海賊行為が、これまでにない程に悪化していることを明確に示している。また、我々は、関税法改正に向けたECの尽力と現場において税関職員が専門性を

発揮していることに対して非常に感謝している。しかし、国境地域での海賊製品押収は、海賊行為への数ある対抗手段のひとつに過ぎない。欧州全域で、民事と刑事の両面から適切な罰則を整備し、海賊対策執行活動を強化することが極めて重要である。我々は、これらが、ECが提議した“権利執行ディレクティブ”によって達成されることを期待している」と述べています。

なお、IFPIでは、世界1,500社以上を代表する音楽産業団体として、世界規模での海賊対策活動を推進しています。世界中に50の海賊行為防止チームを組織しており、それらは各国政府の執行当局や税関との密接な協力関係の下、活動を実施しています。

(IFPIプレスリリース2002.7.26)

イギリス音楽市場 4~6月売上げ15.4%減少 (前年比)

8月12日、イギリスレコード協会(BPI)は、2002年4~6月期のイギリス音楽市場売上げ状況を発表しました。これによると、2002年第2四半期の売上げは前年同期比15.4%減少、この影響で2002年上半年売上げも前年同期比で6%の減少となりました。

この要因のひとつとして、今年6月に開催されたワールドカップが挙げられます。一般的に、このようなイベントはレコードの売上げに悪影響を与えるため、レコード会社はリリース計画を数週間遅らせるとさ

れています。

また、エリザベス女王在位50周年記念行事や悪天候のために個人消費が低迷したことがその他の原因として考えられます。

さらに、前年同期は強力新譜の発売により売上げが特に好調であったため、今期の対前年比が低い数値となっています。

このような売り上げ下降の影響を受け、レコード業界が当期中に投下した広告宣伝費は、前年同期比で33%マイナスとなりました。

フォーマット別の売上げとしては、17センチシングルが伸びたものの、シングル全体では数量で11.9%、金額で13.8%の減少(前年同期比)となり、1999年下半年以降、連続して下降傾向にあります。

アルバムではLP、カセット、CD、MDの全てにおいてマイナスとなっており、数量で10.9%、金額で15.6%(前年同期比)の減少となりました。

(BPIマーケットインフォメーション2002.8.2)

松村克巳氏逝去

当協会理事の松村克巳氏(日本コロムビア(株)代表取締役社長)が、8月20日に逝去されました。

松村氏は、(株)BMGファンハウス代表取締役副社長などを経て、2002年14年1月、日本コロムビア(株)代表取締役社長兼CEOに就任された後、当協会理事に選任されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

2002年8月会議メモ(主なもの)

(8月1日~8月31日)

8・9 レコード倫理審査会

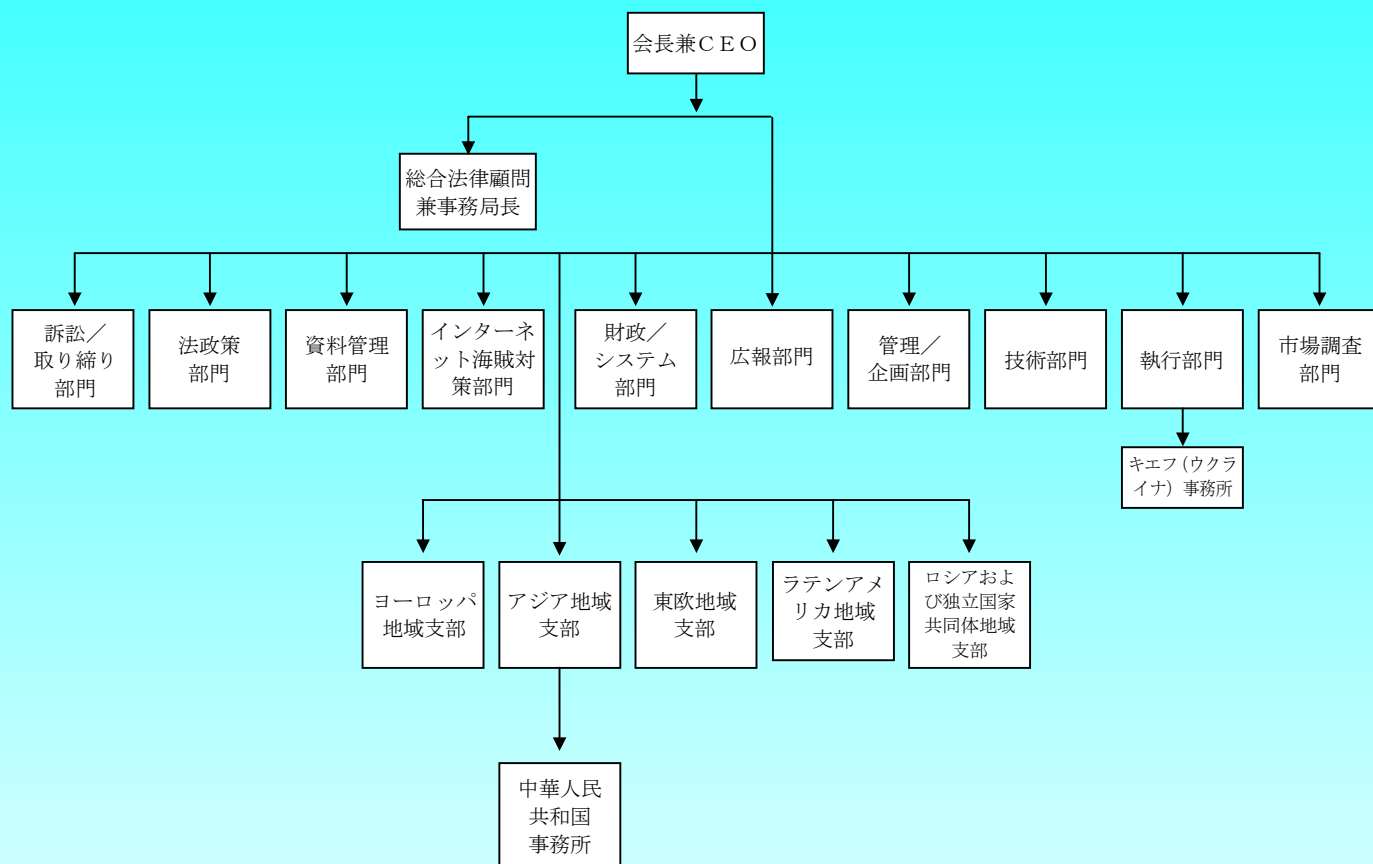
8・20 臨時法制委員会

IFPIについて

IFPI(国際レコード産業連盟)は、以下の組織(2002年5月現在)によって蔓延する違法行為等の問題に取り組んでいます。

海賊版問題に関し、CD-R等のパッケージ系の違法コピーを取り締まる「執行部門」やネットワーク上の違法行為に対応する「インターネット海賊対策部門」のほか、違法行為を防ぐための国際条約の推進、国内法制の改善を各国に働きかけるために、「法政策部門」が設置されています。

これらの活動は「広報部門」を通じて、広く世界中に情報発信されています。



・ 訴訟／取り締り部門

海賊版に関する訴訟、取り締り、著作権使用料交渉などを行っています。IFPI会員社の権利が侵害された場合には刑事・民事を問わず訴訟を起し、可能な場合には損害賠償請求を行います。過去2年間の民事訴訟の和解金額合計は500万ドル以上に上ります。

・ 法政策部門

レコード産業に関係する立法や条約について政策の策定を行います。また、実演権委員会の運営を行なっています。

・ 資料管理部門

レコード産業に関係する、法律、流通、技術についての書籍や定期刊行物の保管・管理を担当しています。

・ インターネット海賊対策部門

ナショナルグループとの連携の下、ISPに対して、インターネット上の違法コンテンツ削除要請を行なっています。2001年にはオープンアップ型サーバーだけで3億5,000万ファイルの削除を行い、ISPを通じて120万ユーザーに削除通知を送付しました。

・ 財政／システム部門

財務予算案の立案、役員や理事会への会計報告を行って

ます。また、ITシステム全般の管理サポートを担当しています。

・ 広報部門

音楽の保護を訴えるための各種イベントや出版物刊行等を行っています。また、中央理事会、IFPI評議会の他、広報委員会の運営を担当しています。

・ 管理／企画部門

76カ国1,508の会員や、46のナショナルグループを管理するほか、中央理事会や執行委員会の会議運営を行っています。また、IFPI事務局として、職員人事等も行っています。

・ 技術部門

技術的側面から海賊版問題に取り組んでいるほか、コピープロテクション等の技術研究を行っています。また、新しいフォーマットに関する会員社への情報提供、MPEG等の規格開発やISRCの管理も担当しています。

・ 執行部門

急増するCD-Rへの違法コピー取り締りのため、各地域に設置した支部および税関と連携して活動を行っています。

・ 市場調査部門

音楽市場に関する統計、音楽海賊規模の推定、IFPI会員への情報サービス提供を主な業務としています。

●レコード産業、インターポールの知的財産犯罪への対応を歓迎

インターポール（国際刑事警察機構）が知的財産犯罪に関する捜査を行う目的でワーキンググループ創設の決定をしたことに対し、国際レコード産業は歓迎の意を表しました。

今回の動きは、知的財産犯罪が深刻化、組織化しており、その取り組みには警察、税関およびその他取り締まり当局との密接な連携が不可欠であることを意味するものと言えます。

海賊版問題は、音楽産業が直面している最大の脅威です。世界的に見た場合、5枚中2枚のレコードは海賊版コピーです。このような音楽の海賊版による被害額は年間43億米ドルにも及び、新しいアーティストへの投資にブレーキをかけ、文化全体の発展を阻害しかねません。

今回創設されるワーキンググループは、情報交換や知的財産犯罪の捜査を円滑化するためのフォーラムとして機能するほか、トレーニングを通じて支援を行うこととなります。

このワーキンググループ創設は、警察、税関、民間企業からの代表者が出席した7月23日の合同国際会議によって決定されました。

インターポール事務局長のRon Noble氏は次のように述べています。「インターポールでは、知的財産関連犯罪が、犯罪組織あるいはテロリスト集団によって大規模に行われている状況を認識しています。国境を超えて行われ、かつ一般市民にも重大な影響を及ぼすこの犯罪行為の撲滅に向けた国際警察活動の円滑化や調整が不可欠です。税関当局、国際機関ならびに民間企業と連携を取りながら取り組んでいくことで、インターポールは拡大するこの脅威に対して、効果的な対処ができると考えています」

IFPI執行部門責任者のIain Grantは、「我々は今回の決定を心から歓迎しています。拡大する音楽の海賊に効果的に対策を講じ、その背後にある犯罪組織を撲滅するためには、国際警察や税関、その他の執行機関と協力しながら取り組んでいかなければならないのです」とコメントしました。

(IFPIプレスリリース2002.7.29)

●IFPI、中国の違法ウェブポータルサイトに警告

IFPIからの警告を受けて、3つの中国語ウェブポータルサイトが音楽サービスの提供を停止しました。

sina.com、sohu.com（北京）、tom.com（香港）の3つのサイトは、個人がそれぞれのサイト上で選んだ楽曲を友人が携帯電話で聴くことができる「楽曲配信」サービスを運営していました。これらのサイトは約7ヵ月間に亘って運営されていましたが、IFPIは会員社の著作権を侵害するこれらの活動を停止するよう要求していました。

これらのサイトでは1,000以上の楽曲を「配信」可能な状態にしており、1回の料金は約3.97元（48セント）でした。

IFPIでは7月12日に、北京の弁護士を通じて警告を発していました。今回のサービス停止は、このIFPIの警告を受けて行われたものですが、sohu.comでは自社のサービスは中国音楽著作権協会（CMCA）との契約に基づいた合法的なもので、と主張していました。

しかし、IFPIアジア地域支部（香港）のJ.C.Giouw氏は「CMCAが許諾するのは歌詞と作曲についてのみである。我々はこれらのサイトに対して、彼らがサイト上で提供していた音源の権利は作品の権利とは異なるものである旨を通知した」と述べています。

サイトに掲載されていた楽曲数から、IFPIは、これら3つのサイトでは7ヵ月間で約800万曲を販売し、その売上は約3200万元（360万米ドル）であったと推定しています。このうちの90%の楽曲は無許可で使用されたと思われます。Giouw氏は、「損害についてはこれらのサイト代表者と交渉中だが、合意に達しない場合には訴訟も辞さない」とコメントしています。

(ビルボード2002.8.10)

THE RECORD 8月号7頁の世界の話題に記載されていた“BumaStemra”はオランダの著作権管理団体です。

2002年1月～6月新譜数

2002年(平成14年)の1月～6月に発売された新譜数を集計しました。

図1 オーディオレコード新譜数

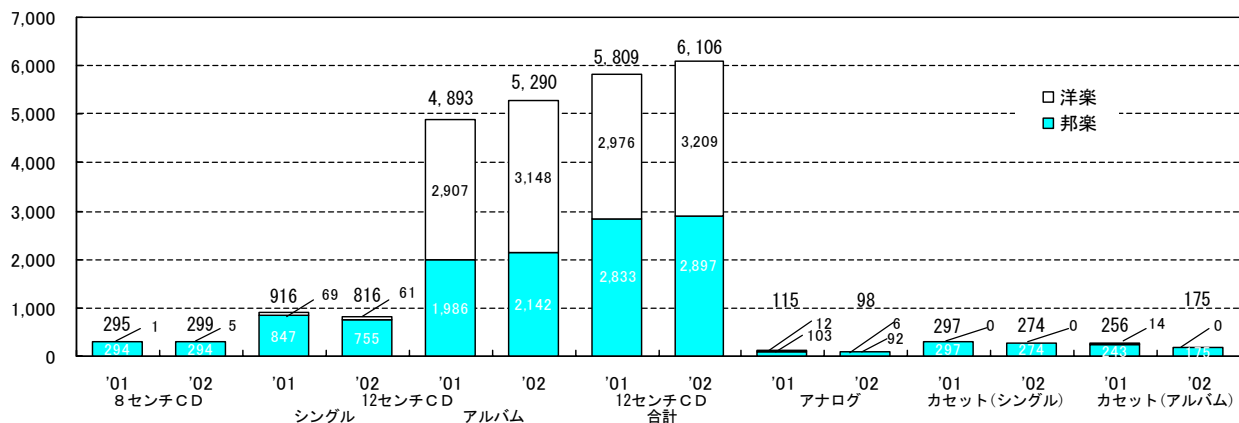


表1 オーディオレコード新譜数

単位: 枚・巻 (参考)

			8cm CD	12cmCD			アナログ	カセット		合 計	複合型	
				シングル	アルバム	計		シングル	その他		CD-G	その他
邦	歌謡曲	演 歌	244	14	122	136	0	242	101	723	0	0
		ポップス・歌謡曲	21	246	337	583	32	16	8	660	0	0
		ニューミュージック	12	414	1,019	1,433	57	1	4	1,507	0	0
		小 計	277	674	1,478	2,152	89	259	113	2,890	0	0
盤	軽 音 楽	0	1	117	118	0	0	7	125	0	0	
	民 謡・純 邦 楽	5	6	43	49	0	14	38	106	0	0	
	教育・教材・童謡・童話	0	3	78	81	0	1	7	89	0	0	
	アニメーション	12	61	302	363	0	0	10	385	0	0	
	ク ラ シ ョ ッ ク	0	0	45	45	0	0	0	45	0	0	
	カ ラ オ ケ	0	0	0	0	0	0	0	0	28	36	
	そ の 他	0	10	79	89	3	0	0	92	0	19	
	邦 盤 計	294	755	2,142	2,897	92	274	175	3,732	28	55	
	(前年比)	(100%)	(89%)	(108%)	(102%)	(89%)	(92%)	(72%)	(99%)	(93%)	(90%)	
	洋	ポピュラー	ロック・ディスコ	5	45	1,112	1,157	1	0	0	1,163	0
ジャズ・フュージョン			0	3	525	528	5	0	0	533	0	0
ポピュラーソング			0	11	265	276	0	0	0	276	0	0
映 画 音 楽			0	0	106	106	0	0	0	106	0	0
そ の 他			0	0	52	52	0	0	0	52	0	0
小 計			5	59	2,060	2,119	6	0	0	2,130	0	0
盤		ク ラ シ ョ ッ ク	0	0	1,062	1,062	0	0	0	1,062	0	0
		そ の 他	0	2	26	28	0	0	0	28	0	0
		洋 盤 計	5	61	3,148	3,209	6	0	0	3,220	0	0
		(前年比)	(500%)	(88%)	(108%)	(108%)	(50%)	-	-	(107%)	-	-
合 計 (前年比)			299 (101%)	816 (89%)	5,290 (108%)	6,106 (105%)	98 (85%)	274 (92%)	175 (68%)	6,952 (103%)	28 (93%)	55 (90%)

図2 ビデオレコード新譜数

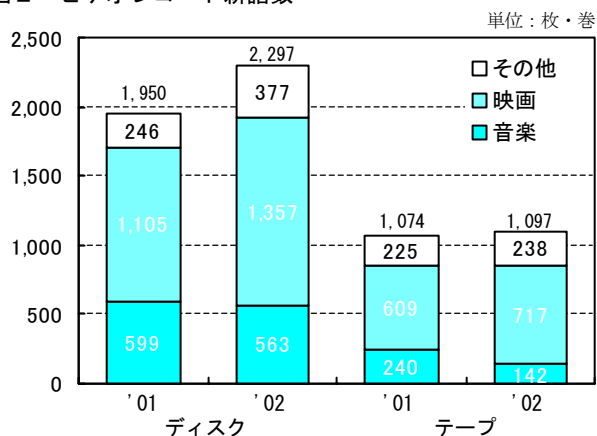


表2 ビデオレコード新譜数

単位: 枚・巻

		ディスク			テープ	合計
		LD	DVD	計		
音楽	邦楽	2	213	215	106	321
	洋楽	0	163	163	36	199
	カラオケ	125	60	185	0	185
映画	邦画	0	320	320	121	441
	洋画	0	412	412	165	577
	アニメ	0	625	625	431	1,056
	その他	0	377	377	238	615
計		127	2,170	2,297	1,097	3,394
(前年比)		(74%)	(122%)	(118%)	(102%)	(112%)

GOLD ALBUM 他認定作品

2002 年 7 月度

アルバム(20作品)

< 邦 楽 >

■ミリオン

GREEN/B'z/2002.07.03(BM)



■プラチナ

シャンティ/島谷ひとみ/2002.06.12(AVT)

ハイヌミカゼ/元ちとせ/2002.07.10(ES)

TOKYO CLASSIC/RIP SLYME/2002.07.24(WJ)

■ゴールド

満ち汐のロマンス/EGO-WRAPPIN'/2001.05.30(UM)

MOON/Gackt/2002.06.19(CR)

Night Food/EGO-WRAPPIN'/2002.07.05(UM)

kiss~dramatic love story~/Various/
2002.07.10(BMG)

HERE WE GO!/嵐/2002.07.17(JA)

Drink! Smap!/SMAP/2002.07.24(V)

< 洋 楽 >

■プラチナ

フル・サークル/ボーイズIIメン/2002.05.29(BMG)

ディスコ・ナイツ/VARIOUS/2002.06.05(SI)

アルティメイト・エアロスミス・ヒッツ/エアロスミス/
2002.07.03(SI)

BY THE WAY/レッド・ホット・チリ・ペッパーズ/
2002.07.10(WJ)

■ゴールド

SLIPKNOT/SLIPKNOT/1999.07.21(RR)

ASHANTI/アシャンティ/2002.04.24(UM)

ビー・ノット・ノーバディ/ヴァネッサ・カールトン/
2002.05.22(UM)

アースビート/VARIOUS/2002.07.03(TO)

シェナニガンズ〜スーパー・ウラ・ベスト!/
グリーン・デイ/2002.07.10(WJ)

レット・ゴー/アヴリル・ラヴィーン/2002.07.24(BMG)

シングル(6作品)

< 邦 楽 >

■プラチナ

東京/桑田佳祐/2002.06.26(V)

Any/Mr.Children/2002.07.10(TF)

H/浜崎あゆみ/2002.07.24(AVT)

■ゴールド

幸せですか?/セクシー8/2002.07.03(EP)

FLOATIN'/CHEMISTRY/2002.07.17(DF)

Do it! Now/モーニング娘。/2002.07.24(EP)

※AI：ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AR：アンティノスレコード/AVT：エイベックス/BG：ビーグラムレコーズ/BM：バーミリオンレコード/BMG：BMG ファンハウス/C：日本コロムビア/CR：日本クラウン/CT：カッティング・エッジ/DF：デフスターレコーズ/EI：エピックレコーズ・インターナショナル/EP：ゼティマ/ES：ソニー・ミュージック EK/Epic Records/EW：イーストウエスト・ジャパン/FL：フォーライフミュージックエンタテイメント/GZ：ギザ/JA：ジェイ・ストーム/JE：ジャニーズ・エンタテイメント/JF：J-FRIENDS P./K：キングレコード/KS：ソニー・ミュージック EK/Ki/oon Records/MH：ソニー・ミュージックハウス/PAR：プライエイド・レコーズ/PC：ポニーキャニオン/PG：ポリグラム/PI：パイオニア LDC/PO：ポリドール/PS：ポリスター/PZ：ピザ・オブ・デス・レコーズ/RR：ロードランナー・ジャパン/SI：ソニーレコーズ・インターナショナル/SN：SENHA & CO./SR：ソニー・ミュージックレコーズ/TE：テイチクエンタテインメント/TF：トイズ・ファクトリー/TJC：徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO：東芝EMI/TRI：トライエム/UM：ユニバーサルミュージック/V：ビクターエンタテインメント/VAP：バップ/WJ：ワーナーミュージック・ジャパン/ZA：ヴァインレコーズ/ZJ：ゾンバ・レコーズ・ジャパン

2002 年 7 月レコード生産実績

社団法人 日本レコード協会

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオレコード

			7 月 実 績						2002 年（1 月～7 月）累 計					
			数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
シン グ ル	8cm CD	邦	548	2	60	236	1	77	4,486	2	86	2,326	1	99
		洋	2	0	88	0	0	32	23	0	5	6	0	15
		計	550	2	60	237	1	77	4,510	2	79	2,332	1	98
	12cm CD	邦	7,917	30	76	6,187	19	82	48,271	24	80	36,842	14	80
		洋	164	1	97	93	0	63	961	0	136	703	0	123
		計	8,081	30	76	6,280	19	82	49,232	25	81	37,546	15	80
	小 計	邦	8,465	32	75	6,423	20	82	52,758	26	81	39,168	15	81
		洋	165	1	97	93	0	63	984	0	81	709	0	116
		計	8,630	32	75	6,516	20	82	53,742	27	81	39,878	16	81
12cmCD アルバム	邦	11,098	42	67	16,506	51	64	95,591	48	85	149,088	58	79	
	洋	5,852	22	103	8,468	26	110	41,938	21	102	59,591	23	102	
	計	16,950	64	76	24,973	77	74	137,529	69	90	208,679	82	84	
C D 合 計	邦	19,563	73	70	22,929	71	68	148,349	74	84	188,256	74	79	
	洋	6,017	23	103	8,561	26	109	42,922	22	102	60,301	24	102	
	計	25,581	96	76	31,490	97	76	191,271	96	87	248,557	98	84	
アナログ ディスク	邦	30	0	21	35	0	23	319	0	42	371	0	46	
	洋	11	0	77	12	0	93	76	0	62	79	0	56	
	計	41	0	26	48	0	29	395	0	44	449	0	48	
カセット テーブ	邦	1,027	4	89	791	2	89	7,464	4	85	5,861	2	84	
	洋	3	0	99	3	0	128	43	0	122	38	0	142	
	計	1,030	4	89	794	2	89	7,507	4	85	5,900	2	84	
総合計	邦	20,621	77	71	23,755	73	68	156,132	78	83	194,488	76	79	
	洋	6,031	23	103	8,577	27	109	43,040	22	102	60,418	24	102	
	計	26,652	100	76	32,331	100	76	199,172	100	87	254,906	100	84	

表2. ビデオレコード

			7 月 実 績						2002 年（1 月～7 月）累 計					
			数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
DVD			7,734	86	188	8,565	66	143	27,372	78	141	43,957	63	112
LD・その他			130	1	79	235	2	94	1,139	3	86	2,063	3	92
テーブ			1,085	12	92	4,138	32	89	6,648	19	72	23,564	34	66
合 計			8,949	100	164	12,938	100	119	35,159	100	118	69,584	100	90

表3. オーディオ/ビデオ合計

			7 月 実 績						2002 年（1 月～7 月）累 計					
			数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
オーディオ			26,652	75	76	32,331	71	76	199,172	85	87	254,906	79	84
ビ デ オ			8,949	25	164	12,938	29	119	35,159	15	118	69,584	21	90
合 計			35,601	100	88	45,269	100	85	234,332	100	90	324,490	100	85

<参考>表4. 複合型CD（CD-G、CD-I、CD-ROMなど）

			7 月 実 績						2002 年（1 月～7 月）累 計					
			数 量	構成比	前 年 同月比	金 額	構成比	前 年 同月比	数 量	構成比	前 年 同期比	金 額	構成比	前 年 同期比
邦 盤			10,432	100	91	1,304	100	64	72,412	100	93	8,383	100	65
洋 盤			0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
合 計			10,432	100	91	1,304	100	64	72,412	100	93	8,383	100	65

備考 1. 本年実績は、会員会社「24 社」の集計である。当会員会社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

THE RECORD 2002年9月号
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 富塚 勇
編集人 田辺 攻
発行日 2002年9月10日
発行 社団法人 日本レコード協会
〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-3 日鐵木挽ビル2F
TEL.03-3541-4411 (代)
FAX.03-3541-4460 (代)
URL:<http://www.riaj.or.jp/>

